

2025年 明石杯高校生英語コンテスト 実施要綱

- 1 趣 旨： 本県の高校生の英語による表現力を伸ばし、英語学習に対する関心を高めるとともに、国際的視野を持つ人材の育成に資する。
- 2 主 催： 群馬県高等学校教育研究会英語部会
群馬県立女子大学外国語教育研究所
群馬県教育委員会
- 3 後 援： 上毛新聞社
- 4 期 日： 本大会 **令和7年11月14日（金）** 9：30～16：00
(9：00～9：20受付)
支部予選（スピーチ第1部・レシテーションの部） 各支部決定
- 5 会 場： 本大会 群馬県立女子大学 2号館
支部予選（スピーチ第1部・レシテーションの部） 各支部決定
- 6 部 門： 以下の4部門を実施する。
スピーチ第1部、スピーチ第2部（海外滞在経験者等）、レシテーションの部、
プレゼンテーションの部
●注意！●部門を重複しての出場はできない。また、優勝経験者は同じ部門に出場することはできない。
- 7 参加費： 本大会 1名1,000円（本大会当日、受付にて徴収）
※支部予選（スピーチ第1部・レシテーションの部）の参加費については、各支部で決定する。
- 8 予 選： スピーチ第1部及びレシテーションの部は支部予選（12支部）を行う。
各支部から本大会へ出場できる人数は、以下の通りとし、合計46名とする。
前橋（7） 高崎（8） 桐生（4） 伊勢崎（4） 太田（5） 館林（3）
渋川（3） 利根・沼田（4） 富岡（2） 藤岡（2） 吾妻（2） 安中（2）
※過去3年間の各支部予選参加者数を考慮し、令和4年度より上記のとおり変更する。
 - ・ 各支部における各部門本大会代表者の人数比は各支部に一任する。ただし、代表者選考に際しては、スピーチ第1部の参加者が増えるよう配慮する。
 - ・ 支部予選詳細については、各支部担当者より示される支部予選実施要項による。
 - ・ 支部予選会場校は、原則として前年度優勝校の中から決定する。
- 9 その他： スピーチ第1部優勝者およびスピーチ第2部（海外滞在経験者等）の優勝者の2名を関東甲信越地区高等学校スピーチコンテストに派遣する。
●重要●
・2025年度から変更の箇所があります。
・要項を熟読し、内容をよくご確認の上申し込みをしてください。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

スピーチ第1部 実施要項

- 1 参加資格： 群馬県高等学校教育研究会に所属する高等学校及び中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在籍し、各支部予選において支部代表として選出された生徒。
ただし、第1部に参加できる生徒は下記(a)～(c)のいずれにも該当しない生徒とする。

- (a) 満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヶ月以上、英語圏（英語を第一言語、公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）に居住した者。※英語圏詳細については別途、全英連ホームページに掲載される。
- (b) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことのある者。
- (c) 満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。

- 2 内 容： 自由（発表者自身が昨年度及びそれ以前の明石杯を含む他の大会で未発表の自作のスピーチに限る）。
ただし、支部予選からスピーチの内容に大きな改変を加えてはならない。

- 3 制限時間： 4分30秒～5分30秒（第1声から、最後に”Thank you.”と言い終わるまで）

- 4 審査基準：
- | | | |
|----------|-----|--|
| Content | 25点 | Choice of Topic, Organization, Persuasiveness / Critical Thinking / Creativity |
| English | 15点 | Intelligibility, Grammar and Usage |
| Delivery | 10点 | Voice / Speed / Pace, Posture / Eye Contact |
| 合計 | 50点 | |
- 各審査員の順位を集計し、それを基に審査員で協議し最終順位を確定する。

- 5 審査員： 日本人1名と英語を母語とする外国人2名の合計3名

- 6 表 彰： 上位6名を表彰

- 7 申 込 み： 支部予選会 各支部の支部役員まで申し込む。
※申込ファイルは本部会ホームページよりダウンロード可能。
本大会 各支部代表が決まり次第、**支部役員が所定用紙にて電子メールで申し込む。**

<本大会申込先>

群馬県高等学校教育研究会英語部会事務局（群馬県立富岡高等学校）
〒370-2343 富岡市七日市1425-1 電話：0274-63-0053 F A X：0274-62-2745
電子メール：koitabashi-tetsu@edu-g.gsn.ed.jp （教諭・小板橋徹治）

- 8 その他：
- (ア) 一切の器具、道具、暗唱用ペーパーの使用を認めない。
- (イ) 次のとおり合図する。合図は、紙表示により行う。
1) 4分 2) 4分30秒 3) 5分 4) 5分30秒
※4分30秒に満たない場合、または、5分30秒を超えた場合は減点する。
- (ウ) 発表者が暗記していた英文を忘れてしまった場合に備え、プロンプターを配置する。
- (エ) 本大会出場者は、発表する英文の原稿（A4判・縦置き：タイトル・学校名・氏名を明記する）を2部用意し、本大会当日スピーチ第1部会場にて提出する。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

スピーチ第2部（海外滞在経験者等） 実施要項

- 1 参加資格： 群馬県高等学校教育研究会に所属する高等学校及び中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在籍する生徒で、スピーチ第1部の参加資格に書かれている(a)～(c)のいずれかに該当する生徒。
各学校1名とする。
- 2 内 容： 自由（発表者自身が昨年度及びそれ以前の明石杯を含む他の大会で未発表の自作のスピーチに限る）。発表後、Questions & Answers を実施する。
- 3 制限時間： 発表時間：4分30秒～5分30秒
（第1声から、最後に”Thank you.”と言い終わるまで）
質問時間：2分
- 4 審査基準：

Content	25点	Choice of Topic, Organization, Persuasiveness / Critical Thinking / Creativity
English	15点	Intelligibility, Grammar and Usage
Delivery	10点	Voice / Speed / Pace, Posture / Eye Contact
Questions & Answers	8点	Communicative Ability
合計	58点	

各審査員の順位を集計し、それを基に審査委員で協議し最終順位確定する。
- 5 審査員： 審査員 日本人1名と英語を母語とする外国人2名の合計3名
質問者 英語を母語とする外国人1名（審査には入らない）
- 6 表 彰： 上位3名を表彰
- 7 申 込 み： 各校において所定用紙にて下記事務局まで電子メールで申し込む。
※申込ファイルは本部会ホームページよりダウンロード可能。
申込締切：令和7年10月10日（金）

<本大会申込先>

群馬県高等学校教育研究会英語部会事務局（群馬県立富岡高等学校）

〒370-2343 富岡市七日市 1425-1 電話：0274-63-0053 F A X：0274-62-2745

電子メール：koitabashi-tetsu@edu-g.gsn.ed.jp （教諭・小板橋徹治）

- 8 そ の 他：
 - (ア) 一切の器具、道具、暗唱用ペーパーの使用を認めない。
 - (イ) 次のとおり合図する。合図は、紙表示により行う。
 - 1) 4分 2) 4分30秒 3) 5分 4) 5分30秒
※4分30秒に満たない場合、または、5分30秒を超えた場合は減点する。
 - (ウ) 発表者が暗記していた英文を忘れてしまった場合に備え、プロンプターを配置する。
 - (エ) 出場者は、発表する英文の原稿（A4判・縦置き：タイトル・学校名・氏名を明記する）を令和7年10月30日（木）までに上記申込先へメール添付にて提出する。
 - (オ) 申込時のタイトルがプログラムに掲載される。●注意●申込後にタイトルや原稿を変えない。
万が一、タイトル等を変えた場合でも、事務局で修正等の対応は行わない。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

レシテーションの部 実施要項

- 1 参加資格： 群馬県高等学校教育研究会に所属する高等学校及び中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在籍し、各支部予選において支部代表として選出された生徒。ただし、下記 (a)～(c)のいずれにも該当しない生徒とする。

- (a) 満5歳の誕生日以後に、通算で6ヶ月以上、英語圏（英語を第一言語、または公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）に居住した者。
- (b) 日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、その教育を受けたことのある者。
- (c) 満5歳の誕生日以後に、保護者または同居親族に、英語を母語とする者、もしくは英語圏出身の者がいる場合。

- 2 内 容： 発表者自身が他の大会（昨年度及びそれ以前の明石杯を含む）で未発表の題材を使用するものとする。

- 3 制限時間： **2分00秒～3分00秒**（第1声から、最後に”Thank you.”と言い終わるまで）
※ 2分00秒に満たない場合は失格とする。

- 4 審査基準：
- | | |
|-----------------------|-----|
| Pronunciation | 10点 |
| Intonation | 10点 |
| Speed / Rhythm / Pace | 10点 |
| Delivery / Expression | 10点 |
| 合計 | 40点 |
- 各審査員の順位を集計し、それを基に審査員で協議し最終順位を確定する。

- 5 審査員： 日本人1名と英語を母語とする外国人2名の合計3名

- 6 表 彰： 上位6名を表彰

- 7 申 込 み： 支部予選会 各支部の支部役員まで申し込む。
※申込ファイルは本部会ホームページよりダウンロード可能。
本大会 各支部代表が決まり次第、支部役員が所定用紙にて電子メールで申し込む。

<本大会申込先>

群馬県高等学校教育研究会英語部会事務局（群馬県立富岡高等学校）
〒370-2343 富岡市七日市1425-1 電話：0274-63-0053 F A X：0274-62-2745
電子メール：koitabashi-tetsu@edu-g.gsn.ed.jp （教諭・小板橋徹治）

- 8 そ の 他：

(ア) 一切の器具、道具、暗唱用ペーパーの使用を認めない。

(イ) 次のとおり合図する。合図は、紙表示により行う。

1) 1分30秒 2) 2分 3) 2分30秒 4) 3分

※ 2分に満たない場合は失格、3分を超えた場合は減点する。

(ウ) 発表者が暗記していた英文を忘れてしまった場合に備え、プロンプターを配置する。

(エ) 本大会出場者は、発表する英文の原稿（A4判・縦置き：タイトル・学校名・氏名を明記する）を2部用意し、本大会当日レシテーションの部会場にて提出する。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト
プレゼンテーションの部 実施要項 **(変更あり)**

- 1 参加資格： 群馬県高等学校教育研究会に所属する高等学校及び中等教育学校（後期課程）、高等専門学校（1～3学年）に在籍し、英語を母語としない生徒。各学校2名までとする。
*英語圏（英語を第一言語、または公用語、または公用語に準ずる言語として使用する国、地域）滞在経験の有無等についての規定は設けない。
- 2 テーマ： How can schools in Japan encourage diversity (for a better future)?
「多様性を大切にする学校」とは、どのような場でしょうか？あなたは生徒として、そして社会の一員として、学校のあり方を考える立場にあります。多様な人が共に学び、認め合える学校をつくるには、どのような工夫が必要か。自分自身の経験や視点をもとに、より良い未来につながるアイデアを提案してください。
- 3 内容： 他の大会（昨年度及びそれ以前の明石杯を含む）で未発表の自作の内容に限る。
発表後、Questions & Answers を実施する。
- 4 制限時間： 発表時間 4分（第1声から、最後に”Thank you.”と言い終わるまで）
質問時間 1分30秒（最初の質問終了後、計時を開始する）
- 5 審査基準： **English (10 points)**
Physical Message (10 points)
Story Message (20 points)
Visual Message (5 points)
Questions and Answers (5 points)
各審査員の順位を集計し、それを基に審査員で協議し最終順位を確定する。
- 6 審査員： 審査員 日本人2名と英語を母語とする外国人2名の合計4名
質問者 英語を母語とする外国人1名（審査には入らない）
- 7 表彰： 上位5名を表彰
- 8 申込み： 各校において所定用紙にて下記事務局まで電子メールで申し込む。
※申込ファイルは本部会ホームページよりダウンロード可能。
申込締切：令和7年10月10日（金）

<本大会申込先>

群馬県高等学校教育研究会英語部会事務局（群馬県立富岡高等学校）
〒370-2343 富岡市七日市 1425-1 電話：0274-63-0053 FAX：0274-62-2745
電子メール：koitabashi-tetsu@edu-g.gsn.ed.jp （教諭・小板橋徹治）

- 9 その他：
 - (ア) コンピュータ（Microsoft PowerPoint）を利用し、テーマについて自分の意見を発表する。暗唱用ペーパーや小道具等の使用は認めない。
 - (イ) 必ず手持ちマイクを使用する（スタンドの使用・不使用は選択可）。
 - (ウ) 部屋の明るさを変えたり、音声を拡張したりすることはできない。
 - (エ) 審査員への働きかけはしない。
 - (オ) 次のとおり合図する。合図は、紙表示により行う。
 - 1）制限時間30秒前
 - 2）制限時間に達した時
 - 3）30秒超過した時※ 4分を超えた場合は減点する。
 - (カ) プレゼンテーションの部出場者は、英文による発表概要(Wordファイル)と視覚資料(PowerPointファイル)を令和7年10月30日（木）までに別紙提出要領のとおり提出する。
 - (キ) 申込時のタイトルがプログラムに掲載される。申込後にタイトルを変えない。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

プレゼンテーションの部

発表概要ファイル及び視覚資料ファイルの提出要領

- 1 発表者は、次の2つを電子メール添付にて下記送付先まで提出してください。

(1) 発表内容（英文）の概要ファイル

Microsoft Word ファイルでの提出をお願いします。Google ドキュメント等で作成した場合は、Word でダウンロードして提出してください。

概要の長さに規定はありませんが、発表内容がおおまかに把握できる程度の簡単なもので結構です（A4判・縦置き：タイトル・学校名・氏名を明記する）。

(2) プレゼンテーションソフトを用いた視覚資料ファイル

Microsoft PowerPoint ファイルでの提出をお願いします。Google スライド等で作成した場合は、PowerPoint でダウンロードし、体裁やアニメーションを確認したうえで提出してください。

ファイルの中に音声・動画は入れないでください。コンテスト会場では音声（効果音を含む）は拡張できません。当日のファイルの差し替えは認めておりませんので、ご了承ください。

発表用ファイルは分割せず1つのファイルとして送付してください。ファイル容量が大きく電子メールに添付できない場合には、ファイルを圧縮して添付するか、データをCD等にコピーして郵送するなどして、対応してください。

当日は、事務局が用意したパソコンやポインターを使用します。事前に送信いただいたPowerPoint ファイルを事務局のパソコンに入れて持参します。PowerPoint 以外の使用は認めません。また、提出後のファイルの変更等は認めませんのでご注意ください。

提出締切日：令和7年10月30日（木）必着

- 2 送付先：群馬県高等学校教育研究会英語部会事務局

＜本大会申込先＞

群馬県高等学校教育研究会英語部会事務局（群馬県立富岡高等学校）

〒370-2343 富岡市七日市 1425-1 電話：0274-63-0053 F A X：0274-62-2745

電子メール：koitabashi-tetsu@edu-g.gsn.ed.jp （教諭・小板橋徹治）

- 3 送付資料の返却はできません。大会終了後、事務局にて破棄いたします。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

スピーチ第1部 運営細目

◆ 審査員に徹底してもらいたいこと

- Content (25点)
Choice of Topic(5), Organization(10), Persuasiveness / Critical thinking / Creativity(10)
- English (15点)
Intelligibility(10), Grammar and Usage(5)
- Delivery (10点)
Voice / Speed / Pause(5), Posture / Eye contact(5)

50 × 3 judges = 150 TOTAL: 150 points (2014年より)
順位の決定・・・要項記載の通り

◆ 運営上の留意点

- 定時制の生徒の参加も支障はない。＜平成3年度確認＞
- 外国生まれ日本帰化生徒の参加も特に支障はない。＜平成3年度確認＞
- 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は、減点する。＜2015年より＞
- タイム処理は、集計係の仕事。(集計点より1秒につき1点減点)＜平成4年度より＞
大会当日朝の打合せにて、その旨を審査員に伝えること。＜平成2年度より＞
- 時計は第1声から、最後に"Thank you"と言い終わるところまでとする。＜平成9年度確認＞
- ベル合図でなく、カード合図方式を採用する。カードは高く上げて示す。カードは以下の色のうちわを使用。＜2015年より＞
 - 合図1回目＝ホワイトカード(4分経過)
 - 合図2回目＝イエローカード(4分30秒経過)
 - 合図3回目＝オレンジカード(5分経過)
 - 合図4回目＝レッドカード(5分30秒経過)
- プロンプターを導入する。(県大会において)＜平成12年度＞
※プロンプターは、発表者5人程度ごとに交代する。

◆ 出場生徒へ徹底を

- 1) 器具・道具の使用は認めない(暗唱用ペーパー等)。
- 2) カードによる合図：
 - 1回目(ホワイトカード＝4分経過)
 - 2回目(イエローカード＝4分30秒経過)
 - 3回目(オレンジカード＝5分経過)
 - 4回目(レッドカード＝5分30秒経過・タイムアップ)
- 3) 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は、減点する。
- 4) スピーチの時間は第一声から最後の"Thank you."までとするので、必ず終わりに"Thank you."を入れること。
- 5) 次の生徒は待機席で待つ。
- 6) 静粛に。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

スピーチ第2部（海外滞在経験者等） 運営細目

◆ 審査員に徹底してもらいたいこと

- Content (25点)
Choice of Topic(5), Organization(10), Persuasiveness / Critical thinking / Creativity(10)
- English (15点)
Intelligibility(10), Grammar and Usage(5)
- Delivery (10点)
Voice / Speed / Pause(5), Posture / Eye contact(5)
- Questions & Answers (8点)
Communicative Ability(8)

58 × 3 judges = 174 TOTAL: 174 points

順位の決定・・・要項記載の通り

◆ 運営上の留意点

- 定時制の生徒の参加も支障はない。＜平成3年度確認＞
- 外国生まれ日本帰化生徒の参加も特に支障はない。＜平成3年度確認＞
- 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は、減点する。＜2015年より＞
- タイム処理は、集計係の仕事。（集計点より1秒につき1点減点）＜平成4年度より＞
大会当日朝の打合せにて、その旨を審査員に伝えること。＜平成2年度より＞
- 時計は第1声から、最後に"Thank you"と言い終わるところまでとする。＜平成9年度確認＞
- ベル合図でなく、カード合図方式を採用する。カードは高く上げて示す。カードは以下の色のうちわを使用。＜2015年より＞
 - 合図1回目＝ホワイトカード（4分経過）
 - 合図2回目＝イエローカード（4分30秒経過）
 - 合図3回目＝オレンジカード（5分経過）
 - 合図4回目＝レッドカード（5分30秒経過）
- プロンプターを導入する。（県大会において）＜平成12年度＞
※プロンプターは、発表者5人程度ごとに交代する。
- Questions & Answersを導入する＜2019年より＞

◆ 出場生徒へ徹底を

- 1) 器具・道具の使用は認めない（暗唱用ペーパー等）。
- 2) カードによる合図：
 - 1回目（ホワイトカード＝4分経過）
 - 2回目（イエローカード＝4分30秒経過）
 - 3回目（オレンジカード＝5分経過）
 - 4回目（レッドカード＝5分30秒経過・タイムアップ）
- 3) 4分30秒に満たない場合、または5分30秒を超えた場合は、減点する。
- 4) スピーチの時間は第一声から最後の"Thank you."までとするので、必ず終わりに"Thank you."を入れること。
- 5) 次の生徒は待機席で待つ。
- 6) 静粛に。
- 7) 【質問時間について】
1分30秒を超過した場合には、応答の途中でもタイムキーパーの "Thank you, Mr/Ms ○○" という合図で終了となる。タイマーを使用して1分30秒のアラームを鳴らす。質問時間が終了したとき、発表者は"Thank you."と言って降壇する。
※ただし、最初の質問終了後、計時を開始する。

2025年 明石杯高校生英語コンテスト

レシテーションの部 運営細目

◆ 審査員に徹底してもらいたいこと

- Pronunciation (10点)
- Intonation (10点)
- Speed / Rhythm / Pace (10点)
- Delivery / Expression (10点)

40 × 3 judges = 120 TOTAL: 120 points (2007年より)

順位の決定・・・要項記載の通り

◆ 運営上の留意点

- 定時制の生徒の参加も支障はない。＜平成3年度確認＞
- 外国生まれ日本帰化生徒の参加も特に支障はない。＜平成3年度確認＞
- 2分00秒に満たない場合は失格とする。＜2018年より＞
- タイムの超過は、減点する。＜2015年より＞
- タイム処理は、集計係の仕事。(集計点より1秒につき1点減点)＜平成4年度より＞
大会当日朝の打合せにて、その旨を審査員に伝えること。＜平成2年度より＞
- 時計は第1声から、最後に"Thank you"と言い終わるところまでとする。＜平成9年度確認＞
- ベル合図でなく、カード合図方式を採用する。カードは高く上げて示す。カードは以下の色のうちわを使用。＜平成5年度・2018年改＞
 - 合図1回目＝ホワイトカード(1分30秒経過)
 - 合図2回目＝イエローカード(2分経過)
 - 合図3回目＝オレンジカード(2分30秒経過)
 - 合図4回目＝レッドカード(3分経過)
- プロンプターを導入する。(県大会において)＜平成12年度＞
※プロンプターは、発表者5人程度ごとに交代する。

◆ 出場生徒へ徹底を

- 1) 器具・道具の使用は認めない(暗唱用ペーパー等)。
- 2) カードによる合図：
 - 1回目(ホワイトカード＝1分30秒経過)
 - 2回目(イエローカード＝2分経過・下限タイムのクリア)
 - 3回目(オレンジカード＝2分30秒経過)
 - 4回目(レッドカード＝3分経過・タイムアップ)
- 3) タイムの超過は減点とする。また、2分に満たないスピーチは失格とする。
- 4) スピーチの時間は第一声から最後の"Thank you."言い終わるところまでとするので、必ず終わりに"Thank you."を入れること。
- 5) 次の生徒は待機席で待つ。
- 6) 静粛に。

2025年明石杯高校生英語コンテスト

プレゼンテーションの部 運営細目

◆ 審査員に徹底してもらいたいこと (下線部・・・2025年より変更)

- English (10点)
Grammar, Vocabulary, Pronunciation, Structure
- Physical Message (10点)
Posture and Eye Contact, Gesture, Voice Influence, Manner of Delivery
- Story Message (20点)
Organization, Originality, Style of Language, Logicity
- Visual Message (5点)
Quality, Utilization
- Questions and Answers (5点)
Comprehension, Responsiveness, Communication Skills

50 × 4 judges = 200 TOTAL: 200 points

順位の決定・・・要項記載の通り

◆ 出場生徒へ徹底を

- 1) タイムの超過は減点及び失格とする。
- 2) 【発表時間について】
超過10秒までは集計点より2点減、20秒までは4点減、30秒までは6点減とし、それ以上は失格となる。(2014年より) ※パワーポイント等の機械の不具合が生じた場合、ロスタイムを考慮する
- 3) 【質問時間について】
1分30秒を超過した場合には、応答の途中でもタイムキーパーの "Thank you, Mr/Ms ○○" という合図で終了となる。タイマーを使用して1分30秒のアラームを鳴らす。(2014年より) 質問時間が終了したとき、発表者は "Thank you." と言って降壇する。
※ただし、最初の質問終了後、計時を開始する。
- 4) 審査基準 (English) を追加、および、各小項目の見直し。(2025年より)
- 5) 次の生徒は待機席で待つ。
- 6) 静粛に。